

令和7年度 第2回瑞浪市市之瀬廣太記念美術館協議会 会議録

日 時：令和7年10月29日（水）14時30分～15時30分

会 場：瑞浪市化石博物館、レクチャールーム

出席者 <協議会委員> 柴田 増三（社会教育関係者）会長

小栗 茂 （学識経験のある者）

島村 節男（学識経験のある者）

加納 礼爾（学校教育関係者）

<事務局> 水野 義康（館長）・安藤 佑介

欠席者 <協議会委員> 早川 美幸（家庭教育の向上に資する活動を行う者）

1 あいさつ

館長より開会の挨拶がなされた（内容は省略）。

柴田会長より挨拶がなされた（内容は省略）。

2 報告事項

令和7年度事業中間報告について

1）普及活動の充実

・①企画展の開催

委 員：大変良い内容だったが、説明のパンフレットや学芸員の解説があったほうがよかった。

事務局：今回の企画展は開催期間が短く、解説会などができなかったが、来年度以降の企画展では実施できるようにしたい。

2）文化施設再編について

委 員：美術資料の収蔵方針はどう考えているか。

事務局：ブロンズ作品など大型のものが多いため、十分なスペースを確保したい。また、貸し出しも想定してトラックヤードを導入したい。

3 協議事項

令和8年度事業計画について

1）普及活動の充実

・①企画展の開催

委 員：明世小学校との連携企画展は今後も続けたいため、協議会資料でも次年度の計画に入れてほしい。

事務局：次回からそのようにする。

委 員：できれば企画展は夏期に開催してほしい。

事務局：来年度はスケジュール的に10月の開催であるが、次々回は検討する。

・②講座の開催

委員：講座は現在化石博物館で開催しているが、できれば美術館で開催して、最初に作品を見学してから制作に入ったほうが学習効果も高い。

事務局：美術館には講座を開催する部屋がないため難しいが、例えば最初の集合を美術館にして、作品を見た後化石博物館に移動して制作を開始する、ようなスケジュールを検討したい。